**グローバル補助金（人道的プロジェクト）申請手順**

**Ⅰ．事業の立案**

**（１）地域調査**：

プロジェクトの立案に当たって、地域社会の調査を実施し、その結果を報告することが義務

づけられています。実施国側の協力の下に、調査を行い、地域社会のニーズや課題を明らかにし、現地で利用できるリソース、既に行われている取り組み、新たに実施可能なアプローチや活動の情報を取得する必要があります。

**（２）プロジェクトの計画**：

地域調査に基づいて計画してください。

・グローバル補助金委員会の設置：３名のロータリアン、代表連絡担当者

・検討すべき事項：

重点分野と事業目標との適合性、地域社会の積極的な支援、ロータリアンの役割と責任、

成果の持続性、成果の測定・評価方法、測定可能な目標の設定、モニタリングと評価、

予算の内訳、予算を裏付ける書類（見積書など）

**Ⅱ．地区への申請**

**（１）地区への予告**

地区の承認後、オンライン申請し、承認が得られるまでにかなりの時間がかかります。グローバル補助金の申請を随時受付していますので、できるかぎりお早目に申請してください。

地区において定めているＤＤＦ使用予算総額に達するときは次年度扱い、または、既計画中の人道的プロジェクトの地区及び財団での審査却下後の受付となります。人道的プロジェクトを予定している場合は速やかに以下の事項を国際奉仕小委員会及び補助金小委員会にご連絡下さい。

①　事業名称

　②　事業概略

③　事業総予算

④　ＤＤＦ配分希望額

⑤　申請書（テンプレート）提出見込み年月日

当該年度のＤＤＦ使用予算残高があるかどうか確認してご連絡いたします。

　　**（２）地区への申請提出書類（下記資料の日本語訳）**

・グローバル補助金申請書（人道的プロジェクト）のテンプレート

・地域社会調査の結果フォーム

・協力団体との覚書

・予算内訳の根拠となる資料

・その他補足資料

**（３）申請後の流れ**

①　申請提出書類をガバナー事務所へ提出してください

②　申請後の流れ

国際奉仕小委員会での書類審査　⇒　補助金小委員会での審査　⇒

地区として承認　⇒　クラブによるオンライン申請　⇒　ロータリー財団で審査・決定

**Ⅲ．ロータリー財団へのオンライン申請**

当地区提唱クラブ・実施国側提唱クラブの代表責任者が、Ｍｙ ＲＯＴＡＲＹに登録してからの

スタートとなります。（登録しないと申請画面に入ることができません。）

（１）財団申請の手順

* 1. Ｍｙ　ＲＯＴＡＲＹログイン
	2. 「参加する」をクリック
	3. 「補助金センター」をクリック。
	4. 画面を日本語に翻訳するため、右上のGrant SearchのEnglishを日本語に変更
	5. 画面上部の「補助金の申請」をクリック
	6. 申請を開始する。

（２）代表責任者両方の名前を申請画面に入力するとグローバル補助金番号が授与され、ようやく申請を始めることができます。

（３）代表責任者、副代表責任者情報を入力

（４）入力言語

申請は英語、そのあとに日本語（翻訳）を入れてください。どうしても無理な場合は日本語でも

構いません。ただし、その場合、日本事務局財団室が翻訳するため、申請から承認までにかなり

の時間がかかります。

（５）すべての入力が終わったらガバナー事務所までご連絡してください。

当地区、協同提唱地区両方の地区ロータリー財団委員長・ガバナーが承認を行います。これで

オンライン申請終了です。あとはロータリー財団の審査結果を待つことになります。

**Ⅳ．財団承認後のクラブの作業**

（１）クラブ拠出金をガバナー事務所宛、送金してください。（送金依頼状を送ります）

　　（協同提唱クラブがある場合も、ガバナー事務所で一括取りまとめます。）

（２）口座の開設（実施国のみ）

　　口座名義人の他に、口座署名人２名を決定してください。

　　口座名にはグローバル補助金プロジェクト番号とクラブ名を必ず入れてください。

（☆☆クラブＧＧ１６・・・・・）

（３）補助金管理

　　　具体的な会計処理は、補助金管理Ｑ＆Ａに準じてください。

（４）領収証

　　　７５ドル以上の領収証はすべて保管してください。

（５）プロジェクト終了後

財団へ中間報告・最終報告（オンライン報告）

　　　　　　財団承認後は、補助金プロジェクト番号が掲載されている画面の右端に、青色の報告の文字が現れます。そこから入って入力ください。その場合、中間報告か最終報告のどちらかを選び、その後は、表示に従って入力ください。

　　　　　　まず、プロジェクト代表責任者が入力し、最後に当該年度会長が承認します。

　　　　　　中間報告：　プロジェクト開始から１年経過しても完了しない場合

　　　　　　最終報告：　プロジェクト完了後、２か月以内